

**平成 19 年 度**

**環境局予算要求方針**

# - 目 次 -

<b>1 平成 19 年度 環境局予算要求総括表</b> . . . . .	1
【一般会計】	
【特別会計】	
<b>2 平成 19 年度予算要求にあたっての基本的考え方</b> . . . . .	3
<b>3 予算要求の重点事項</b>	
(1) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ . . . . .	5
(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ . . . . .	5
(3) その他の重点事業 . . . . .	12
<b>4 事務事業の総点検</b>	
(1) 事務事業の見直し . . . . .	13

# 1 平成19年度 環境局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位:百万円)

区 分	平成18年度 予 算 額 (A)	平成19年度 要 求 額 (B)	増 減 額 (B) - (A)	増減率 (B-A)/A
<b>環境事業部</b>	12,966	13,140	174	1.3%
	(5,621)	(5,542)	( 79)	( 1.4%)
環境総務費	234	204	30	12.8%
	(171)	(123)	( 48)	( 28.1%)
ごみ処理費	12,074	12,282	208	1.7%
	(4,960)	(4,925)	( 35)	( 0.7%)
し尿処理費	658	654	4	0.6%
	(490)	(494)	(4)	(0.8%)
<b>環境都市推進部</b>	1,443	1,475	32	2.2%
	(330)	(378)	(48)	(14.5%)
<b>みどりの推進部</b>	9,770	9,612	158	1.6%
	(4,689)	(4,669)	( 20)	( 0.4%)
公園緑地管理費	3,580	3,559	21	0.6%
	(3,484)	(3,466)	( 18)	( 0.5%)
公園緑地整備費	6,190,	6,053	137	2.2%
	(1,205)	(1,203)	( 2)	0.2%
<b>円山動物園</b>	501	498	3	0.6%
	(332)	(284)	( 48)	( 14.5%)
<b>合 計</b>	24,680	24,725	45	0.2%
	(10,972)	(10,873)	( 99)	( 0.9%)

1 ( )内は一般財源

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある

## 【特別会計】

### 駐車場会計

(単位:百万円)

区 分	平成 18 年度 予 算 額 (A)	平成 19 年度 要 求 額 (B)	増 減 額 (B) - (A)	増減率 (B / A)
円山公園駐車場管理費	104	104	0	0.0%

## 2 19年度予算要求にあたっての基本的考え方

大量消費・大量廃棄型経済社会及び都市化による自然環境の消失、並びに化石エネルギーの消費による二酸化炭素の増大と温暖化などの課題に対して、良好な環境を保全し将来の世代に引き継ぐことは、市民一人ひとりの責務であり願いです。

このため本市では、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型都市づくり、及び自然環境と共生する都市づくりを進めるため、環境基本計画に基づき、省資源・省エネルギー、都市内の緑の創出をはじめとした自然環境の保全など、各種施策に取り組んできたところであり、今後とも、より一層市民の皆さんや事業者などと協力し、効果的で重点的な施策に取り組んでいく必要があります。

こうしたことから、環境局では、「さっぽろ元気ビジョン」の基本目標の一つであります「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現に向けて「水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を柱に据え、事業の優先付け・重点化を図り、次のとおり予算要求を行うこととしております。

## 施策の柱

### 1 水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現

水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現を図るため、ゆたかで清らかな水辺を創出するとともに、みどりを一層充実させる取組を展開し、魅力にあふれ、うるおいのある街並みづくりを推進します。

### 2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

地球温暖化の防止に向けて、市民・事業者・行政が一体となって CO<sub>2</sub>排出量の削減を進めるため、環境問題の深刻さについて市民・事業者の理解を深めると同時に、総合的な事業展開により市民の日常生活の中に環境行動のムーブメントを起こします。

また、化石燃料の消費量を極力削減するため、自然エネルギーや未利用エネルギーの利用を促進します。

大量生産・大量消費・大量廃棄を基調とした「ワンウェイ型」社会から循環型社会への転換を図るために、企業の事業活動や市民の皆さんの日常におけるごみの発生抑制、再利用、リサイクルを推進します。

また、環境に配慮したごみ処理を徹底します。

### 3 ゆたかな冬の暮らしの実現

冬の遊びやスポーツをはじめ市民が雪に親しみ、楽しむ機会を大切にしながら、一年を通じて市民が快適に生活できる、北国らしい暮らしを創造するとともに、雪を貴重な資源という視点で見詰め直し、上手に活用する取組を進めます。

### 4 その他の重点事業等

ポイ捨て等防止啓発・指導事業  
ごみ埋立地関連事業  
清掃工場等整備事業

### 3 予算要求の重点事項

#### (1) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

##### 1 地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

259百万円(275百万円)

注:( )内は18年度予算額

- ・福祉のまちづくり公園整備(みどりの推進部) 259百万円  
「福祉のまちづくり条例」に基づき、既設公園を高齢者・障がいのある人など誰もが利用しやすい構造に改修する。

#### (2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

札幌の大きな魅力となっているゆたかなみどりを30%増やすことを目指して、清らかな水辺の創出、街のみどりのボリュームアップを図るとともに、地球温暖化防止に向けて、CO<sub>2</sub>の排出量を10%削減することなどを目指します。さらに、本市自らが率先してエネルギーの有効利用をはじめとする環境行動を推進し、市民・事業者などへ波及させる取り組みを進めます。

また、循環型社会の構築を図るため、市民や事業者との連携・協働によるごみの発生抑制、再使用、リサイクルの取り組みを推進するとともに、環境に配慮したごみ処理を徹底します。

- ・環境基本計画推進(環境事業部) 5百万円  
環境基本計画の推進に向け「札幌市環境基本計画推進のための円卓会議」において、計画推進状況の点検・評価や推進方策等の協議を行うとともに、推進体制の充実を図る。

## 1 水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現

5,985百万円(6,280百万円)

注:( )内は18年度予算額

- ア プレイリーダー育成事業(みどりの推進部) 1百万円  
プレイリーダー(公園ガイド)の育成と市民活動拠点の確保をする。
- イ 水環境計画推進(環境都市推進部) 6百万円  
水環境保全に関する地域住民の理解促進、活動の活発化を図るための支援を行うとともに、多様な水資源を環境用水として有効利用するための調査検討を行う。
- ウ 特別緑地保全地区取得(みどりの推進部) 255百万円  
特別緑地保全地区として指定した土地のうち買い入れ申し出があったものを取得する。
- エ 都市林等整備(みどりの推進部) 2百万円  
良好な樹林地の保全と市民へのレクリエーションの場の提供を目的に、市民の森や自然歩道を整備する。
- オ 都市環境緑地取得整備(みどりの推進部) 122百万円  
良好な都市生活環境を維持していく上で重要な樹林地を取得し、保全と活用のために必要な整備を行う。
- カ 地域制緑地計画調査事業(みどりの推進部) 2百万円  
市街地に残る緑豊かな環境を保全するため、特別緑地保全地区について指定の条件整理及び候補地を調査する。
- キ 市民主体の公園等管理推進支援事業(みどりの推進部) 1百万円  
市民が主体となって、公園等を管理・運営し、緑を守り育てることを目的に、公園ボランティア登録制度の推進や森林保全活動の支援等を図る。
- ク 森林環境保全整備事業(みどりの推進部) 3百万円  
森林機能の保全・育成、森林の減少を防止するため、市民や森林所有者等との協働により、除間伐等森林保育整備を行う。
- ケ 公園造成(みどりの推進部) 1,766百万円  
多様な市民ニーズを的確に捉えながら、市民に広く親しまれる緑豊かな公園の整備を行う。22箇所21.3haを造成する。

- コ 丘珠空港緑地施設造成（みどりの推進部） 230百万円  
 丘珠空港が道内航空網の拠点空港としての機能を十分に発揮できるよう、空港周辺の環境整備（4.5ha）を行う。
- サ 国営公園負担金（みどりの推進部） 490百万円  
 国営滝野すずらん丘陵公園の整備費、維持管理費を負担する。
- シ 個性あふれる公園整備（みどりの推進部） 314百万円  
 開設後20年以上経過した公園を対象に、地域の特性にマッチした個性的な公園として再生する。
- ス 既設公園整備（みどりの推進部） 327百万円  
 市民の日常利用に対応した既設公園の維持改修等を行う。
- セ 公園用地取得（みどりの推進部） 542百万円  
 多様な市民ニーズを的確に捉えながら、市民に広く親しまれる緑豊かな公園の整備をするための用地取得を行う。8箇所2.1haを取得する。
- ソ 丘珠空港緑地用地取得（みどりの推進部） 1,623百万円  
 丘珠空港が道内航空網の拠点空港としての機能を十分に発揮できるよう、空港周辺の環境整備のための用地（4.7ha）を取得する。
- タ 道路緑化推進（みどりの推進部） 165百万円  
 質の高い道路景観の創出を図るため街路樹・緑地帯の保護・育成を行い緑のボリュームアップを目指す。
- チ 一家庭一植樹運動推進（みどりの推進部） 9百万円  
 緑の協定や各種イベントなどを通じて家庭の植樹を推進し、行政だけでなく、市民とともにみどりのボリュームアップを図る。
- ツ リラの花香る街づくり事業（みどりの推進部） 35百万円  
 札幌市の木であるライラックの植樹を、市民との協働のもとに民有地や地域で推進するほか、併せて公園、学校、庁舎等においても植樹を進める。
- テ みどりゆたかな都心づくり事業（みどりの推進部） 31百万円  
 都心部の街路空間において、沿道企業との協働によるフラワーポットの設置や街路樹景観などの向上に努め、みどりゆたかな空間づくりに取り組む。
- ト 公共施設緑化推進（みどりの推進部） 31百万円  
 民間施設の緑化を誘導し、良好な都市環境の創出を図るため、学校や公共施設などの緑化を重点的に進めるほか、公共施設緑化基準の検討に取り組む。
- ナ 民有地緑化推進（みどりの推進部） 2百万円  
 家庭で行なわれているガーデニングの取り組みを普及することにより、民有地におけ

る緑化を推進し、市街地の景観向上を目指す。

ニ 市民参加による都市緑化推進事業(みどりの推進部) 1 2 百万円

緑の協定<sup>1</sup>や緑化推進地区<sup>2</sup>の指定を通じて、市民による自主的な民有地の緑化活動を支援する。また、林野庁と共催による植樹祭を実施し、植樹を通して市民の緑化意識の向上と緑の増量を図る。

ヌ マイタウン・マイフラワープラン事業(みどりの推進部) 4 百万円

市民と協働して花苗を育成して植樹活動を行い、緑づくりに取り組む。  
また、幼稚園・小学校で、敷地内及び周辺の街路樹ますに植栽する花苗のほか、家庭や地域で植栽する花苗づくりに取り組む。

ネ 都市緑化基金造成費補助(みどりの推進部) 1 2 百万円

都市緑化基金は都市緑化の普及・啓発を目的に設置されており、その運営は(財)札幌市公園緑化協会が行なっている。基金の果実(利子)により市民への記念樹プレゼント等の民有地緑化推進に係る各種公益事業を実施しているが、基金の造成のために補助を行なう。

## 2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

1, 6 1 3 百万円 ( 1, 1 3 8 百万円 )

注:( )内は 18 年度予算額

ア CO<sub>2</sub>削減普及推進事業(CO<sub>2</sub>削減アクションプログラム後継事業)

5 2 百万円

平成 1 6 年度から 3 年計画で実施した CO<sub>2</sub>削減アクションプログラムの実績評価を踏まえ、“気づき”から“行動”への普及啓発の進展、具体的 CO<sub>2</sub>削減達成のための事業の拡充、さらに環境教育の推進をポイントとした体系的事業群

- ・ エコライフ行動レポート事業
- ・ 市民環境活動支援事業
- ・ 自動車環境保全促進事業
- ・ 環境保全活動への企業サポーター募集事業
- ・ 総合的環境教育支援プログラム
- ・ 中学生を対象にした学校対抗環境活動コンテスト
- ・ 環境教育施設・環境関連企業との連携事業
- ・ 総合的環境副教材改訂
- ・ 環境情報発掘・発信事業
- ・ 市民環境活動推進事業
- ・ 地域推進計画の進行管理事業
- ・ 校外研修用バス借り上げ

<sup>1</sup>緑の協定：住宅敷地などの緑を増やすことについて市民の皆さんの合意を得たうえで市と協定を結んでいただき、お互いに役割分担したうえで緑を増やす活動をともに行っていく制度。市は緑化に対しての技術的なアドバイスなどいろいろな支援を行う。

<sup>2</sup>緑化推進地区：従前の市によるモデル地区の抽出指定から、特に、緑化の推進に関して住民の意識が高い地区を緑化推進地区として指定する。

- イ 環境保全設備資金貸付（環境事業部） 85百万円  
 今日的な環境問題に対応可能な融資あっせん制度を実施する。
- ウ 環境教育基本方針推進管理（環境都市推進部） 2百万円【新規】  
 平成18年度に改定した札幌市環境教育・学習基本方針の効果的な推進のための施策の評価、方針の見直し、プログラムの追加などの検討を行う。
- エ 総合的環境副教材改訂（環境都市推進部） 2百万円【新規】  
 市内の全小学校に配布している総合的環境副教材について、利用方法や内容を見直した改訂を行う。
- オ 学校ビオトープ整備支援事業（環境都市推進部） 2百万円  
 小学校の自主的なビオトープ<sup>3</sup>づくりに対して支援を行う。
- カ 低公害車導入事業（環境都市推進部） 7百万円  
 公用車への低公害車導入を促進することにより、市民・事業者に対しクリーンエネルギー自動車の普及啓発を図る。
- キ 環境マネジメントシステム事業（環境都市推進部）  
 10百万円【レベルアップ】  
 札幌市環境マネジメントシステム<sup>4</sup>の継続的な改善と企業への普及・啓発を図る。（「行政の率先行動と市民などへの波及」にも該当）
- ク ESCO 率先導入事業（環境都市推進部） 2百万円  
 本市公共施設における ESCO 事業の率先的導入、および民間事業者等に対する ESCO 事業の普及啓発を行う。
- ケ エネルギー対策体系化事業（環境都市推進部） 8百万円  
 公共施設における省エネ推進・新エネ導入に関し、費用対効果を検証するプロセスをまとめた指針をつくり、省エネ推進・新エネ導入を計画的体系的に実施する体制を確立する。
- コ 都市排熱有効利用基礎調査（環境都市推進部） 5百万円  
 西区民センター・保健センターにおいて下水道排熱を活用したヒートポンプによる冷暖房設備の実証事業をおこなう。

<sup>3</sup> ビオトープ：ドイツ語で生物を Bio と場所を意味する Tope から作られた合成語で、トンボ池などある程度まとまりのある生息地などの意味として幅広く使われている。

<sup>4</sup>環境マネジメントシステム：組織が自主的にその活動やサービス等が環境に与える影響を低減するように配慮し、継続的に改善を続けられるようにするための”組織的な仕組み”のことをいい、環境保全に関する方針、目標、計画等を定め、これを実行、記録し、その実行状況を点検して方針等を見直す一連の手続きが定められている。

- サ 風力発電事業性評価業務（環境都市推進部） 2百万円  
手稲山口地区において、風力発電事業実施の事前調査を行う事業者を公募する。
- シ 都市再生プロジェクトネットワーク構築事業費補助（環境都市推進部） 187百万円  
都市再生プロジェクトの一環として「札幌駅前通地下歩行空間整備事業」と連携して熱供給事業者が実施する「札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業」に対する支援を行う。
- ス 太陽光発電等設置モデル事業（環境都市推進部） 18百万円  
環境教育の一環として、普及啓発効果の高い小学校に太陽光発電設備を導入する。
- セ さっぽろごみプラン21改定（環境事業部） 6百万円  
札幌市廃棄物減量等推進審議会からの答申を踏まえて、一般廃棄物処理基本計画「さっぽろごみプラン21」の改定を行う。
- ソ リサイクル事業推進（環境事業部） 14百万円  
市民・事業者・行政の三者で構成する「ごみ減量実践活動ネットワーク」による、生ごみ・紙ごみ・容器包装の減量、リユースなどの実践活動を展開する。
- タ 電動等生ごみ処理機購入助成（環境事業部） 4百万円【レベルアップ】  
家庭系生ごみ処理方法の選択に幅を持たせるため、引き続き処理機購入費の助成を実施する。
- チ 蛍光管拠点回収・リサイクル事業（環境事業部） 24百万円  
家庭から排出される蛍光管の分別回収・リサイクルを市民・事業者・行政の役割分担のうえで実施する。また、あわせて乾電池のリサイクル処理を実施する。
- ツ 事業系ごみリサイクルシステム構築事業（環境事業部） 6百万円【レベルアップ】  
異業種(古紙回収業者以外)店舗回収拠点を拡充  
リサイクルシステムの普及推進(古紙回収箱デザインコンペ開催)  
市街地古紙排出・回収体制の整備  
上記の3点を行うことにより札幌式古紙リサイクルシステムを確立する。  
(「環境に配慮したごみ処理体制の確立」にも該当)
- テ 不法投棄防止事業（環境事業部） 14百万円  
不法投棄抑制を目的に、夜間の監視・啓発パトロールを行う。

- ト 産業廃棄物処理指導計画推進（環境事業部） 1 百万円  
平成 18 年度より施行された改正廃棄物処理法及び産業廃棄物処理施設設置等ガイドラインの要旨についての周知徹底を図るため、産廃ガイドを配布する。
- ナ 特別管理産業廃棄物適正処理監視強化対策事業（環境事業部） 6 百万円  
P C B 廃棄物等について監視体制を強化するため、保有事業者の把握と指導を行う。
- ニ 清掃車両等購入（環境事業部） 1 9 5 百万円  
ごみ収集車 15 台（うち、天然ガス車 1 台）、その他車両 2 台更新
- ヌ 北清掃事務所整備（環境事業部） 5 百万円【新規】  
老朽化の著しい北清掃事務所管理棟外壁の改修を行う。
- ネ ごみ埋立用地取得（環境事業部） 3 0 0 百万円  
不燃ごみや焼却灰などを適正に処理するため、ごみ埋立事業用地を計画的に取得する。
- ノ ごみ埋立地造成（環境事業部） 3 7 8 百万円  
不燃ごみや焼却灰などを適正に処理するため、既存の埋立地内に新規埋立ブロックを造成する。
- ハ 発寒清掃工場排ガス高度処理施設整備（環境事業部） 1 5 1 百万円  
発寒清掃工場の既存排ガス処理施設を撤去し、新たに排ガス高度処理施設（排ガス減温塔・バグフィルター）を設置する。
- ヒ 白石リサイクル保管庫解体（環境事業部） 2 7 百万円【新規】  
白石リサイクル保管庫の解体整備等を行う。
- フ 処理場管理事務所移転（環境事業部） 1 0 0 百万円【新規】  
平成 20 年度に予定している施設清掃事務所と処理場管理事務所の業務統合に向け、施設清掃事務所の改修及び処理場管理事務所の移転を行う。

#### 【成果指標】

廃棄ごみ量（平成 10 年度対比）

【目標】 1%削減      10.9%削減      【19 年度効果】 10.1%削減

### 3 ゆたかな冬の暮らしの実現

1百万円(2百万円)

注:( )内は18年度予算額

ア 冬の公園利用活性化事業(みどりの推進部) 1百万円

多くの市民が冬の公園利用を促進させるため、市民団体の交流・合同イベントの支援並びに冬の公園利用状況の情報収集及び発信を行う。

### (3) その他の重点事業

ア 環境事業部

(ア) 戦略的施策プログラム推進事業 2百万円

環境基本計画において特に重要な取り組みが必要とされる戦略的施策プログラム推進のため、市民の取り組みについての調査を実施する。

(イ)ポイ捨て等防止啓発・指導事業 15百万円

昨年度に引き続き啓発指導事業を行うとともに、市民認知度を更に向上させるため、広報PR事業も実施する。また、マナー向上を目的に地域における清掃活動支援を実施する。

(ウ)ごみ埋立地用地取得 17百万円

仮称)北部事業予定地

(エ)ごみ埋立地整備 112百万円

第3山口処理場築堤造成工事等

(オ)清掃工場整備 987百万円

発寒・駒岡工場整備、篠路工場延命化事業及び既存バグフィルターろ布交換事業

(カ)粗大ごみ破碎工場整備 16百万円

篠路

(キ)ごみ資源化工場整備 16百万円

成形機部品

(ク)クリーンセンター整備 データ処理装置整備他	1 8 百万円
(ケ)中沼プラスチック選別センター整備 梱包機ダクト改修他	7 百万円
(コ)合併処理浄化槽設置費補助 10 基	5 百万円

#### イ 環境都市推進部

(ア)㈱札幌エネルギー供給公社事業費貸付 地域熱供給事業の安定化と普及促進を図るため、経営支援を行う。	9 5 0 百万円
--	-----------

#### ウ みどりの推進部

(ア)森林整備地域活動支援交付金 森林所有者等が森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査など地域における活動を確保するための支援措置を行う。	2 百万円
--	-------

## 4 事務事業の総点検

### (1) 事務事業の見直し

#### 内部効率

円山動物園の施設の保守レベル・維持管理業務の契約方法の見直しや、冷暖房の抑制などによる光熱水費の見直しによる経費節減

<見直し額 11 百万円>

一般事務費・光熱水費の節約等、施設の保守・各種業務見直し等、及び効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制によるもの

<見直し額 163 百万円>